

第 17 回クォーク例会報告 - (2010 年 02 月 13 日)

木村亮介です。

2 月 13 日、社北公民館にてクォーク例会が行われました。

以下、例会報告です。

1、参加者：尾川、田畑、中橋、山中、山本、木村。 計 6 名

2、内容

今回は、T O S S デー約 1 ヶ月前ということで、講座の検討が中心でした。

・理科の授業開き（中橋）

4 年生、理科の授業開きの講座でした。

桜の花の観察にいくまえにどのような指導をするのか。

ワークシートにどこまでかいてから観察に行くのか。

花のスケッチをどう書かせるのかに、意見が集まりました。

特にスケッチについては様々な意見が出ました。

トレーシングペーパーを使わせるのが、一番エラーレスであるということで、落ち着きました。

エラーレスでスケッチの基礎を学んだ先に、

小森実践に出てくるような、スケッチがあるのだと思いました。

・理科室の使い方（田畑）

はじめて理科室を使うときの指導についての講座でした。

教室から理科室に移動し、実験をする、まとめるまでが講座の中に組み込まれていました。

一連の流れを見ることができるのは、

とてもよいと思います。

理科室では、決まりを守らないと命に関わります。

そのために、教師がどう子どもを統率していくのか。

毅然と対応するとはどうやるのか。

そういったことを随所から学べる講座になっていました。

尾川氏の講座と重複している部分もありましたが、

田畑氏の講座で学び、それを尾川氏の講座で復習するという流れにすれば、

より価値が出てくると思いました。

・理科室の使い方（尾川）

B T B 溶液を用いた授業が中心の講座でした。

田畑氏の講座と重複している部分は、さらっと流す。

その代わりに、『安全確保』をより強調した方がよいという意見がでました。

理科室にあるものは、絶対に口にしないこと。

素手で、薬品は触らないこと。

一見当たり前のことを、どう子どもの中に落とすか。

そこをもっと工夫すると、

田畑氏の講座とリンクして、価値が上がると思いました。

・コンデンサー（山本）

新しく小学校に入ってきた、コンデンサーをどう授業するかという講座でした。

まだ、発問指示が確定していなかったので、

どう授業していくかを、みんなで考えました。

普通に実験しただけでは、なぜコンデンサーが必要なのかが見えてこない。

だから、太陽光発電のデメリットを押さえた後、

コンデンサーの役割を教えるという代案が示されました。

・B T B 溶液の授業（尾川）

特別支援セミナーで行う模擬授業でした。

子役として、『木村くん』が登場。

実験をするとはいえ、できるだけ刺激を減らす工夫が必要でした。

曖昧な言葉で対応すると、

子役はエラーを学んでしまいます。

それが、よくわかる授業でした。